

見守り 新鮮情報

事例1

最近ガス代が高いので、カセットコンロを使おうと思った。**阪神淡路大震災の頃**に購入した**カセットボンベ**を使用したところ、**ガス**が漏れていて、**火**を噴いた。
(80歳代)

古いカセットボンベの 取り扱いに注意

事例2

カセットボンベを災害に備えてまとめて購入したが**使用期限切れ**になった。未使用のカセットボンベが複数ある。**どうしたらよいか。**
(60歳代)



ひとこと助言

古いものは
使わないで



見守るくん

- カセットボンベは、使用していなくても製造から長期間経過したり、保管環境が適切ではなかったりすると、内部パッキンの劣化によりガス漏れする危険があります。
- カセットボンベの使用の目安は製造後約7年です。製造年月日を確認するとともに、表示のないものや、変形・さびのあるものは使わないようにしましょう。
- 災害用に備蓄しているものは、経年に応じて使い切り、新しいものを補充しましょう。
- 空になったカセットボンベは、お住まいの自治体のルールに従って廃棄しましょう。ガスが残っていたり、処分方法が分からない場合は、製造事業者もしくは、(一社)日本ガス石油機器工業会のカセットボンベお客様センター(電話:0120-14-9996)へ確認しましょう。

本文イラスト: 黒崎 玄

見守り新鮮情報 第502号(2025年1月16日) 発行: 独立行政法人国民生活センター

長崎市消費者センター (長崎市築町3番18号メルカつきまち4階)

相談専用電話 **095-829-1234** または 消費者ホットライン **188**

時間 **10時~17時** (土日祝も可 月曜定休)